

## 全国初のケアラー支援策 本格的に予算化!

今年、ケアラー支援政策に取り組み始めて3年目。これまで家庭や家族に丸投げしてきた介護や看護を、社会全体で支援できる仕組みにしていきたいと思えます。昨年3月の県条例制定以来、実態調査、有識者会議を重ね、今年3月にはケアラー支援計画が完成し、令和3年度にケアラー支援のための新規予算を約2億円確保することができました。埼玉県は、引き続きケアラー支援を充実させ、全国のモデルとして取り組んでまいります。

厚生労働省がヤングケアラー支援のためのプロジェクトチームを立ち上げるという動きもあり、今後は全国的な実態調査や支援策が検討されると思えます。ケアラー法制定に向けた働きかけを、関係団体の方々と一緒に取り組んでまいります。

また、県内の市町村及び現場に対し、きめ細かい支援のための条例や支援計画作りのお手伝いをしていくことが今年の目標です。



Yahoo!ニュースに掲載されました

### ケアラー新聞最新号[3月号] Vol.02完成!

最新号では、ケアラー支援予算一覧、実態調査の結果、「精神障害者家族会」や「病気のこどもと家族の会」の皆様との対談などを特集。発送をご希望の場合は、当事務所まで☎お電話または公式LINEよりお申し込みください。

ケアラー新聞  
電子版はこちらから



きら英敏OfficialSite



## 議員インターンシップ10期生 きら事務所インターン活動日誌

これまで、インターンの大学生たちと一緒に、地域の課題について政策作りを始め、様々な活動を行ってきました。最近では学生のみでの討論会開催や視察、動画制作・配信まで積極的に取り組んでいます。

この春休みに10期生が取り組んだテーマは、地域の公共施設のリノベーション。幸手市吉田地区の「市立吉田幼稚園」は来年で閉園予定となっており、長年学びの場として愛されてきた校舎を有効利用できないかと調査・研究を行いました。詳細はSNS等でご報告します。

コロナ禍で多くの行事やイベントが中止になり、大学生は対面授業すらなかなか叶いませんでしたが、人材育成というのは不要不急ではございません。学生たちをはじめ、大人も子どもも、視野を広げられる場所を、活動によって生まれる知恵と空間を、これからも大切にしていきたいと思えます。



インターンの大学生たちと

## パパコラム



こちらは中級コース

この冬、雪が降ったら遊びたいということで、我が家でも「ソリ」を買いました。ですがこの冬は一度も雪が積もらず、近所の宇和田公園で土手の坂をすべって遊びました。結構大人も楽しめますし、足腰を鍛えることができます!

## 日頃の活動を動画・写真で配信中!



最新情報  
見られます!



QRコードで  
友達追加

またはLINEIDで  
「@221hzwup」と検索

吉良英敏(きら・ひでとし)  
1974年、埼玉県幸手市の真言宗「正福院」の16代目として生まれる。衆議院議員秘書を経て、2015年から埼玉県議員(2期目)。全国初「ケアラー支援条例」提案者代表。特技は剣道、趣味は芸術創作。



【発行】埼玉県議会自由民主党議員団(令和3年4月発行)  
きら英敏事務所 〒340-0133 幸手市惣新田1465  
TEL:0480(48)1172 FAX:0480(48)0721  
mail:kira.hidetoshi.jimusyo@gmail.com

愛する郷土を良くしたい。

## 県政報告

埼玉県議会議員

ひでとし  
きら英敏



2021年(令和3年) 第20号

## 県営権現堂公園

令和4年春 2号公園いよいよ完成

## 東京ドーム約8コ分の広さに!

県営権現堂公園

久喜市栗橋地区から幸手市桜堤までの行幸湖に沿った県営権現堂公園。公園ではおいしい空気をすって、きれいな花を見て、子どもたちは走り回って、気分転換したいですね! 私たちの街に、魅力的で広大な公園がいよいよ完成します! この公園は4つのゾーンで構成されています。

多目的運動広場の1号公園と、歴史と文化と緑の3号公園、そして、四季折々の花が楽しめる4号公園の3つのゾーンがすでに開園していますが、最後の2号公園が来春ついに完成。それにより、総面積は東京ドームの約8倍の広さになります。公園の中央に位置する2号公園の完成により、広大な公園全体を使っての開放的な散歩やジョギングなどが楽しめそうです。

**園内に設置する遊具も県東部最大級!** 全身を使って上り下りする複合遊具やスリル満点のスライダーなど、広大な斜面を利用した“他では見たことのないような遊具”を設置します。多くの子どもたちが一目で圧倒され、思いきり遊びつくせる場所になることでしょう。

また、これまで火気厳禁の公園でしたが、家族や友人と楽しめるバーベキューなどの火気使用が、一部の場所で可能になります。

**きらきらアガシヨ** 平成28年の対話集會にて、地元の皆様から頂いた「県営公園を魅力的にしてほしい」「大きな遊具がほしい」「公園でバーベキューがしたい」というご意見に、今回応えることができました! 今後は、キャンプなど多様な使い方ができるよう要望してまいります。

ポコポコ跳ねる!  
左右に揺れる!  
ビッグモーグルヒル



全身を使って上り下り!  
プレイビート



※遊具は工事のため、まだ遊べません。来春をお楽しみに!

県営権現堂公園 配置図

# 県土整備事業

経過報告

## 幸手市 最大の課題に着手

### 半世紀かかった倉松川改修事業を完結させる!

幸手市の最大の課題は、水害対策です。倉松川の改修は、昭和50年から進められており、ほとんどの工事は終了しています。

未改修の区間は900mですが、最も改修が困難とされてきた国道、県道、線路など5つの橋がまたがる区間となります。川幅は約2倍の20m、両岸には3.5mの通路も設置する計画で、現在、幸手駅西口付近の工事を順調に進めている最中です。令和3年度はさらに下流の川の拡幅、橋の架け替えのための用地取得が完了次第、工事に着手します。着手の順番は、最も大きな工事となる国道4号幸手橋、次に駅に最も近い大日橋の架け替えから行います。

**きらきらポイント** これまで水害が特に大きかった地域は、緑台・東・長倉地区です。地区ごとに集会を開くだけでなく、被災した経験のある地区同士で意見交換も行い、課題を共有しながら水害対策を一步步進めてきました。



幸手駅沿いを流れる倉松川の河道を拡幅する工事。



幸手橋も現在の10mから20mに架け替えられます。

完了報告

## 幸手市 完成! 県道幸手・境線バイパス

### 幸手市と五霞町を結ぶ新たな道が開通

3月20日に県道幸手・境線バイパスの開通式が行われました。新しい橋は両市町の公募により「令和橋」と命名。これまでの旧上船渡橋は、県境をまたぐ重要な橋でありながらも歩道がなく、特に通勤通学時は常に危険と隣り合わせでした。新たなバイパスが開通したことで、地元住民の利便性だけでなく、経済や防災など様々な効果が期待されます。



茨城県との協力で完成した新たな「令和橋」



右)開通式のテープカット

経過報告

## 幸手市・杉戸町 水害対策 中川流量調整施設 まもなく完成!

平成30年より建設を進めている中川の流量調整施設(堰)は、令和3年6月までに完成します。工事も大詰めとなり、施設の全貌が見えてきました。

これにより、埼玉県が保有する放水路の中でも最大規模の幸手放水路の機能(洪水時に中川から江戸川に毎秒50トン排水可能)が最大限生かされ、幸手市・杉戸町の中川流域の浸水などによる被害は3割削減されます。

右)毎秒50トン排水できる放水路の内部。



完成が見えてきた工事現場。大きな堰をつくり、水量調整を可能にします。

経過報告

## 杉戸町 着々と進む駅前通り整備事業 完成は令和8年!

### 東武動物公園駅東口 ロータリー及び駅前通りの拡幅工事

長年の悲願であった東口駅前通りの拡幅は、平成30年12月末に国から埼玉県へ事業認可が下りて以降、地域住民の皆様のご協力のおかげで順調に進んでいます。大型バスの乗り入れができなかった駅前ロータリーは約3倍の広さになり、道路幅は歩道も含め現在の10mから20mに拡幅されます。特に、最大の課題でもあった旧日光街道との危険な交差点(本陣跡地前交差点)も直線道路として全面的に改修されます。

**きらきらポイント** 東武動物公園駅前開発については、平成28年に杉戸町にて対話集会を主催するなど、特に力を入れてきました。駅前通りは、交通量が多いにもかかわらず歩道が狭く大変危険な状況でしたが、令和8年以降は安心安全に通勤通学ができる道になりそうです!



危険な交差点(本陣跡地前)を直線道路に。道路幅も10mから20mに拡幅。



解体作業も進む東武動物公園駅前通り。

計画

## 杉戸町 中川の護岸を守る 水害対策

杉戸町東部を南北に流れる中川。豪雨があった場合、いつ崩れ落ちるかわからない土手を補修するため、令和3年度中に予算化し、全面的に改修工事を実施します。

今にも崩れそうな中川護岸(北蓮沼地区より)



経過/計画

## 杉戸町 古利根川に新たな憩いの場所を

これまで歴史ある流灯祭りをはじめ、親しまれてきた古利根川。3年前から地元住民の皆様と話し合いながら構想を練り、県の事業として川沿いに遊歩道を設置してきました。最近では、川辺の遊歩道に行く通勤通学の方や、散歩される方々をよく目にするようになりました。

また、今話題のサップなどのウォータースポーツをしている姿も。さらに、遊歩道の延伸を進め、古川橋から清地橋までをゆったりと散策できるようにする計画です。杉戸町の新たな魅力スポットとして注目され、今後はテラスや新たなイベント等、水辺とコラボできる企画がたくさん生まれそうです。



新しく県が設置した古利根川沿いの遊歩道。



サップ(イメージフォト)

計画

## 幸手市 構想中! 県道・惣新田バイパス

県道・惣新田幸手線は、地域住民の生活道路です。圏央道の幸手ICの開設により、杉戸深輪産業団地方面からの交通量が著しく増加しました。車両も大型化し、道路補修や振動・騒音など、道路周辺の方々からの相談を受けています。

幸手ICから国道4号バイパスを直線で結ぶ、新しい県道「惣新田バイパス」の実現に向けて、これからも要望を伝えてまいります。



補修を繰り返している既存の県道

## 予算 財政の責任者として—

### コロナ禍での経済政策や財政運営に 全力で取り組んできました。

令和2年度は、企画財政委員長を務めさせていただき、県全体の総合的な施策、またコロナ禍の厳しい状況の中での経済政策や財政運営について議論しました。また、県内経済への影響が心配される時だからこそ、中長期のビジョンを示すこと、持続可能な財政運営、公共投資をはじめケアラー支援などの個人への投資にしっかりと取り組むべきと提言しました。



企画財政委員長として  
県財政全般について議論

個人への投資にしっかりと取り組むべきと提言しました。

今後も、公約でもあり  
ます「水害対策」  
「高齢化社会対策」「人材育成」  
に引き続き注力してまいります。  
令和3年度は、環境・農林  
委員長を務めさせていただきます。  
郷土発展のため、皆様の  
生活のためにこれからも全力  
で取り組んでいきます。

きらきら  
アクション